

発行元  
東京新聞南千住東口専売所  
Tel.5850-3699  
発行責任者  
鬼塚 佳代子  
Tel.3807-3486  
携帯090-2657-0300

# すまいるたうん



汐入

第54号  
平成19年  
12月3日

## 癒しの書と絵 絵手紙と書

森田恵雅

「癒しの時間を持つてもらいたい」

癒し（いやし）、ヒーリングとは、心理的な安心感を与える安らぎの効果があ  
ります。絵手紙歴12年、書道歴30年の森  
田さん（南千住7丁目在住）は、絵手紙  
と書の「癒しの書と絵」を10月に自費出  
版されました。

「見たまま、感じたままを書く  
です」

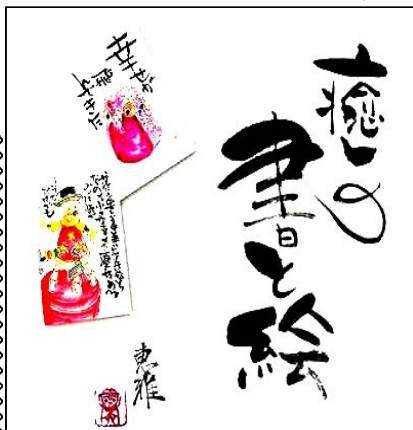
絵手紙は、お手本を真似して書くので  
はなく、自分が感じたままを書きます。  
ハガキなどの画仙紙（日本画などで使用）  
に、四季の花や野菜など描きたい物を見  
たままに大きく描き、短い言葉を添えた  
ものが絵手紙です。ボールペンや筆で線  
を描きクレヨン・顔彩で描き上げた後に  
マツチした字と印（落款）を押して終了  
です。早い人で5分10分で書き上げます。  
「簡単すぎて難しい」チューリップや菊  
など簡単に描けそうな花ほど、意外と難  
しく漢字よりもひらがなの方が書くこと  
は難しいのです。

「へたでいい、へたがいい」

絵心がないから、字が下手だからとしり

込みする必要はありません。楽しく一生  
懸命描くことで相手に気持ち伝わりま  
す。また、下書きは必要ありません。は  
じめに描いた一枚が神経を集中して描い  
ているので一番上手に描けていると、森  
田さんはおっしゃっています。

字の質、字の置き場所、印の押す場所  
で絵手紙の雰囲気が変わります。森田さん  
は、絵と字を生かすことにこだわりがあ  
ります。果物・花・置物・景色が文字に  
なり、絵になり、写真と違う温もりを含  
めて残って行きます。一つ一つを豊かな  
感性で見つめて描かれた「癒しの書と絵」  
は、ページをめくる度に気持ちを柔らかか  
くしてくれます。森田さんの絵手紙は、  
汐入郵便局・南千住5丁目郵便局に展示  
してあります。「癒しの書と絵」は、先  
月ご紹介した「お餅と日本茶の喫茶「月  
光」と集文堂・ヒヤマの書店でも販売  
しております。限定三百冊定価2400円です。  
ぜひご覧になって下さい。また、森田さ  
んは、読売文化センター・サンシャイン  
シティ文化センターで講師をされている  
他に南千住1丁目書道  
と絵手紙の教室もされて  
います。メールや電話で  
済ませてしまう時代だか  
らこそ、ひと手間かけた



絵手紙が相手の方の気持ちに残るのでは  
ないでしょうか。絵手紙で年賀状をいた  
だいたら、嬉しいですよ。年のはじめ  
に気持ちのこもった絵手紙を、送ってみ  
ませんか。  
来年2月には、町屋で森田さんの主宰  
する恵雅会の書と絵手紙の展覧会もあり  
ます。お楽しみに

日本絵手紙協会公認講師  
読売文化センター講師  
サンシャインシティ文化センター  
講師  
恵雅会主宰  
森田恵雅  
絵手紙と書の教室

南千住1-13-10-203  
携帯090-3905-1051

定価2400円  
お餅と日本茶の喫茶「月光」・  
集文堂・ヒヤマにて販売中  
見本は東京新聞南千住専売所に  
あります。